

わたしと奈良

文＝はな
Hana

画＝浅妻健司

東京から新幹線に乗って、京都駅で下車。そこからまた電車を乗り換え、緑豊かな田園地帯を走り抜けると、大好きな仏像たちが住む街、奈良に到着です。

「京都駅から電車乗り換える」このワンクッションが、都内に住む多くの方々に「奈良は遠い」と感じさせているようですが、むしろ大勢の観光客が下車する京都駅から、また別の世界へと誘ってくれる電車は、銀河鉄道999級のワクワク感が味わえるのでオススメ！ 日本最古の仏像たちがいらっしやる奈良にたどり着くまでの道のりも時間も、全てがお目当ての仏像に会った時に味わう喜びへと、つながっていくのです。ここは仏像が住む世界への玄関口。トントン、と扉を叩けば、仏像たちが笑みを浮かべて、私たちを歓迎してください。

どこまでも続く菜の花畑に田んぼ道、奈良県の明日香村にたどり着くと一瞬、タイムスリップしたような気分になる。飛鳥時代に、日本で初めて誕生した仏像がこの明日香村に佇む飛鳥寺に鎮座されています。飛鳥寺の釈迦如来さまは609年に、渡来人の血を引く止利仏師によって制作されました。奈良時代、平城京に都が置かれるまでの

ドで誕生した仏像の壁画や彫刻に見られる衣装や模様で、当時の文化の交流を垣間見ることができたり。同じように、お釈迦さまがインドの釈迦族の王子だった時代のアクセサリーや衣装が、仏像（修行中の菩薩）にも反映されていたり。同じ時代に生きている人々たちを「ハッ」とさせるため、仏師たちも様々な手法で、仏像を制作し、華やかな装飾で彩っていました。

日本で誕生した飛鳥時代の仏像は、朝鮮半島にある百済からの影響を色濃く残していますが、奈良時代に都が平城京に移り、そこからはさらに国際色豊かな仏像が誕生していきます。飛鳥時代から唐の国へと多くの学生や政治家、僧侶たちが派遣され、中国の最先端の技術や学問、仏教の教えなどを日本に持って帰ってきました。その遣唐使たちの働きもあって、日本の文化は奈良時代に大きく開花したのです。シンボリックなのは、聖武天皇の時代に花開いた天平文化。当時のトップにいた学僧や仏師たちの手によって制作された仏像、「奈良の大仏さま」として親しまれている東大寺の盧舎那仏や、迫力ある戒壇院の四天王、豪華な装飾を身につけた不空羅索観音さまなど、華やかな天平時代が残してくれた数々の仏像たちは、奈良が繁栄した時代の象徴です。

きっと当時の人々は、見たこともないような大きな仏像やきらびやかな仏像、最先端の技術や

時代も、奈良は日本の文化の中心であり、百済から仏教と共に仏像を制作する技術が伝わり、この地で開花したのです。同じ飛鳥時代に、聖徳太子が建立した斑鳩の法隆寺には、止利仏師が制作した釈迦三尊像が。さらに、百済観音さまや救世観音さまが、飛鳥時代の仏像の特徴でもある杏仁形の目とアルカイクスマイルを浮かべ、1400年以上経った今も、この奈良から私たちを見守り続けてくださいます。

私がそもそも奈良の仏像に興味を持ち始めたのは、大学生の頃でした。比較文化学科の美術史を学んでいくうちに、東洋美術や仏教美術に興味湧き、気がつけば、仏像漬けの日々を送っていました。インドから始まり、シルクロードを通じて、日本に到着するまでの仏像の歴史を勉強していたので、当時は主に、日本以外の仏像の研究をしていました。授業中はスクリーンに映し出された仏像や、その仏像が誕生した土地の写真を見ながら、各国の文化の流れを比較していたのですが、興味深かったのが、その国を代表する仏像の技術、さらにはファッションやアクセサリーまでもが当時の流行を反映しており、仏像そのものがその時代の「最先端」だったことです。例えば、シルクロー

ファッションを身にまとった仏像たちに会いに、全国各地から奈良まで足を運んでいたのでしょうね。そして、初めてその仏像群を目にした瞬間、どんなことを感じたのでしょうか。当時は金箔や色が鮮明に残っていたので、そのキラキラした光景や仏像の大きさに、相当おどろいたことでしょう。私が奈良が大好きな理由はやっぱり、そんなロマンが今でも息づいているところ。そして、いつ訪れても1400年の時空を超える景色に、ドキドキ、ワクワクさせられるところです。

奈良は、日本の仏像界を代表するスターたちが住む街。これからも京都駅から電車を乗り継いで、大好きな仏像たちに会いにいきますよ！



はな モデル、タレント。神奈川県横浜市出身。2歳から横浜のインターナショナルスクールに通い、17歳からモデル活動をはじめ。上智大学進学後もモデル活動を続け、テレビの司会、ナレーション、エッセイの執筆など活動の範囲を広げる。英語、フランス語に堪能。趣味は、お菓子づくり、仏像鑑賞。2017年、国宝応援大使就任。

Instagramアカウント @hanalovestaco

